

部局横断型教育プログラム「社会デザインと実践のためのグローバルリーダーシップ養成プログラム (Global Leadership Program for Social Design and Management: GSDM 2.0)」を 2020 年 9 月に設置します

<背景>

公共政策大学院においては工学系研究科や他の 7 研究科と連携し、2013 年度からオールラウンド型のリーディングプログラムとして社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム (Global Leader Program for Social Design and Management: GSDM) 事業を実施してきました。2020 年現在の学生の国籍は 16 カ国におよび、コスモポリタンな環境を提供しています。2019 年度に行われた事後評価では、学生を主体としてプログラムを作り上げたことなどが高く評価され、「S」評価をいただきました。

この実績を基に、より幅広い学生を対象とする柔軟なプログラムとして、この秋から部局横断型教育プログラム「社会デザインと実践のためのグローバルリーダーシップ養成プログラム (Global Leadership Program for Social Design and Management: GSDM 2.0)」を 2020 年 9 月に立ち上げます。部局間横断型教育プログラムとすることによって、全研究科・専攻や様々な国際卓越大学院に所属する学生など幅広い学生が参加することができるとともに、参加のタイミングについても修士・博士課程において柔軟に選択できるようになります。

<設置目的>

現代社会においては、構造変化を伴う経済社会的ニーズ、温暖化や新型コロナウイルスのような複合的に作用する様々なシステムリスクを背景とした社会的課題群が存在しています。研究をベースとしてこのような課題に応えるため、社会が直面するグローバルレベルの課題を的確かつ早期に捉え、これに対して、科学技術と制度・政策・教育を含む多様な専門分野の知識を統合して解決策をデザインするとともに、卓越したコミュニケーション能力や行動力を備えたグローバルリーダーとなりうる人材を養成する必要があります。そのため、本プログラム

では、課題を発見し定式化する能力（課題設定力）、各々専門領域を俯瞰的に社会課題の中に位置づける能力（水平展開力）、統合的な解決策を提示する能力（設計力）、多様なステークホルダーと連携して実現する能力（行動力）を養成するためのトレーニングを、OECD等の国際機関とも協力しつつ提供します。

対象となる課題領域は、資源・環境・エネルギー、保健・医療、宇宙・海洋、安全保障、グローバル経済に加えて、食料・生命、AI・デジタル化、学習・コミュニケーションを含む幅広い領域に及びます。このように対象領域は様々なのですが、このような分野の専門家は、しばしば社会の現場において、自らの専門的知識だけでは対応できない、多くのステークホルダーに関わる課題にどう対応するのかという共通の問題に直面します。本プログラムにおいては、社会デザインと実践という一定の観点からの、このような状況に対する備えを大学という場を活用して行います。

<カリキュラム>

具体的なカリキュラムは、様々な分野における課題設定について幅広く学ぶ必修科目である Social Design and Global Leadership、政府、NPO、企業の現場の課題に応じて具体的な解決策の提案を行う選択必修の PBL 科目、俯瞰的視座を提供するグローバル社会・政策コア科目（主として文系科目）及び先端科学技術コア科目（主として理系科目）、各々の専門研究に即した設計力・行動力を養成する課題解決力コア科目から構成されます。現段階での具体的科目は別紙の通りです。

以上のうち、グローバル社会・政策コア科目、先端科学技術コア科目は、対象が幅広い領域に及ぶため、科目数が多くなっていますが、入門科目、基本科目、テーマ科目に分類することで、履修対象の選択が容易になるように工夫しています。入門科目は、他分野の学生に俯瞰的知識を提供することを主たる目的として

おり、基本科目は一定の汎用性のある方法論や横断的課題に関する知識を提供することを目的としており、テーマ科目は個別的課題に関する知識を提供することを目的としています。

このような科目・授業に加えて、学生主導の自主的な分野横断的チームによる実践的研究プロジェクト、海外インターン等の国際プロジェクト支援、OB・OGや現場のステークホルダーとの交流、キャリア計画支援の機会も提供します。また、主要な活動言語は英語となります。

<修了要件>

修了要件は以下の通りです。

- ・必要な科目 2 単位、Project Based Learning 科目 2 単位、グローバル社会・政策コア科目／先端科学技術コア科目／課題解決コア科目から 8 単位（各コア 2 単位以上、内英語科目 4 単位以上）の合計 12 単位以上取得を修了要件とする。
- ・履修は大学院生（修士課程・博士課程）が可能とする。

	科目名・区分	必要単位
必修科目	Social Design and Global Leadership	2 単位
選択必修科目	PBL 科目	2 単位
	グローバル社会・政策コア科目 (GSPP)	8 単位（各コア 2 単位以上）
	先端科学技術コア科目 (AST)	
	課題解決力コア科目 (IS)	
合計		12 単位

※1 PBL 科目は課題解決コア科目ともされているが、選択必修の PBL 科目として認定された科目の 2 単位は、課題解決コア科目の取得単位には算入されない。

※2 部局横断型教育プログラムは、原則として、プログラムが正式開設された後の認定科目のみが認定されることになっているが、同一科目を再度履修・単位取得することはできないという事情もあるため、プログラム開設当初につ

いては、2020年春以前に開講された科目であっても、必修科目、PBL科目については認定する。

<登録と履修証の交付>

登録申請後、本教育プログラムが定める所定の科目を履修し、かつ所定の期日までにUTASで部局横断型教育プログラムWEB修了証申請を行い、修士または博士の学位を取得された方に、東京大学教育運営委員長名の修了証（認定証）を交付します。

登録方法に関しては、近日中にWEB上でお知らせします。

<問い合わせ先>

東京大学公共政策大学院 GSDM 事務局

メールアドレス: [gsdm-ppoffice \[at\] pp.u-tokyo.ac.jp](mailto:gsdm-ppoffice[at]pp.u-tokyo.ac.jp)

[at] は@に変えてください。

電話番号：03-5841-0846

<別紙：科目リスト>